

中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	総合政策学部	身分	教授
氏名	実積 寿也		
NAME	Toshiya JITSUZUMI		

1. 研究課題

（和文）ブロードバンドエコシステムと OTT 産業に関する研究

（英文）A policy study of the broadband ecosystem and OTT industry

2. 研究期間

2 年間（2018～2019 年度）

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度）

（和文）

本研究は、ブロードバンドインターネットの普及を背景に、主要な社会経済活動が、多面市場性を十二分に活用したプラットフォーム事業者をコアとして再構築されつつあることを考慮し、新たに生まれつつあるブロードバンドエコシステムの経済的特徴を踏まえ、産業政策・消費者保護政策の構築に関する基礎的知見を得るとともに、ネットワーク中立性政策への影響を分析することを目指した。

研究期間中においては、国際電気通信学会（ITS）やアジア太平洋地域インターネットガバナンスフォーラム（APrIGF）といった国際会議や、情報通信学会や国際大学 GLOCOM の研究会に参加し、内外の有識者と意見交換を行うとともに、総務省開催の「ネットワーク中立性に関する研究会」に構成員として参加し、実際のルール形成にも携わった。

その過程において、新たに生まれつつあるエコシステムについては、既存の電気通信事業法等では対処できない局面が多く、さらには政策担当者の側に大きな情報非対称性のハンディキャップが生じるため、最低限の法的フレームを整備したうえで、具体的な規律付けは市場メカニズムもしくは事業者自身の自主規制に委ねるという共同規制的なアプローチが有効であるという知見を得た。

これら知見については、「ネットワーク中立性に関する研究会」に反映するとともに、情報法制学会第 3 回研究大会で発表し、情報法制研究所（JILIS）ホームページに JILIS レポート「プラットフォーム事業をめぐる競争政策についての論点整理」として掲載した。さらには、情報法制研究に論文を投稿する予定である。

（英文）

This study aims to provide the basic findings on industrial policy and consumer protection, as well as the effects on net neutrality policies, in light of the economic characteristics of the emerging broadband ecosystem where platforms are gaining competitive dominance. The existing Telecommunications Business Act and other related regulations cannot address various issues arising from the new broadband ecosystem. Therefore, a co-regulatory approach where specific disciplines will be imposed through market mechanisms or operators' self-regulation is effective.